

第 36 回（平成 29 年第 2 回）暁木会・KTC・神戸大学意見交換会 議事録（案）

- ・ 日 時 平成 29 年 10 月 12 日（木）18：30～20：20
- ・ 場 所 神戸大学（ランス 2F）
- ・ 出席者（敬称略，順不同）
 - 暁木会 9 名 油井洋明、濱村吉昭、金治英貞、福田雅人、向井淳、
能勢正義、廣田宗朗、小川清貴、木下稔
 - KTC 1 名 池野誓男
 - 神戸大学 12 名 芥川真一、内山雄介、喜多秀行、小池淳司、澁谷啓、
中山恵介、藤田一郎、竹山智英、加藤正司、小林健一郎
瀬谷創、橘伸也
- ・ 資料
 - 資料 1：第 36 回（平成 29 年第 2 回）暁木会・KTC・神戸大学意見交換会資料
- ・ 議事
 1. 暁木会会長の挨拶
油井会長から挨拶があった。
 2. KTC 理事長の挨拶
代理で池野監事から挨拶があった。
 3. 市民工学専攻長の挨拶
芥川専攻長から挨拶があった。
 4. 海外インターンシップ報告会（暁木会助成金事業）
以下の学生から海外インターンシップ報告があった。
 - ・ 伊藤史佳 学部 2 回生 （米国）



写真-1 海外インターンシップ報告会

5. 乾杯

濱村副会長から乾杯のご発声があった。



写真-2 懇親会の様子

6. KTC からの報告

- ・海外インターンシップについては、KTC も援助している。本年度前期は市民から 3 名の応募があった。引続き応募するように依頼があった。
- ・卒業・修了時に個人データを KTC に提出しているが、情報公開をしないにチェックした学生が、昨年度は 15 名いたが、今年度はそのようなことがないように指導するよう依頼された。

7. 神戸大学からの報告（芥川専攻長）

- ・KTC、暁木会からの援助に対して謝意が述べられた。
- ・卒・修論が図書館に保管されているが、今後、専攻に返還される予定であり、取り扱いについて、暁木会の御意見をいただきたいとお願いがあった。
- ・内山教授から UCLA での在外研究について報告され、橘講師より本年度 11 月からスウェーデン SKB インターナショナルで 10 か月間在外研究を行う予定であることが報告された。

8. 暁木会からの報告

○暁木会ニュースについて

- ・暁木会ニュース No.36 の執筆依頼があった。
- ・母校の近況報告は芥川専攻長に依頼。
- ・就職状況の報告は喜多教授に依頼。
- ・ホームカミングデイの開催報告は小池教授に依頼。
- ・インターンシップ（海外助成）、インターンシップ（国内企業）、大学生活の思い出は、竹山教学委員から学生に依頼する。
- ・内山教授に在外研究時について記事を依頼した。
- ・執筆の締切りは年内とする。

○暁木会活性化策（案）：「卒業 20 年前後の同窓会開催」

- ・会費登録会員の増強，一水会の活性化のため卒業 20 年前後の合同同窓会の企画について報告された.
- ・神戸大学の公式な face book があり，横のつながりを維持するために利用してはどうかと意見があった.

9. その他

大学の近況ならびに学生の就職状況など，活発な意見交換があった.

10. 閉会の挨拶

澁谷教授から閉会の挨拶があった.



写真-3 澁谷教授の閉会挨拶

【会計報告】

- ・収入 55000 円（会費 2500 円，参加者 22 名）
- ・支出 55000 円
- 収支 0 円

以 上